

企業/団体名 株式会社エグゼクティブ

事業内容 営業アウトソーシング

設立 2002年1月28日

従業員数 34人

所在地 東京都中央区日本橋堀留町1-6-5丸彦ビル4F

資本金 10,000,000円

## テレワークの取組概要

### 「自由に働き、自由に生きる。」実現のための施策

#### ◆テレワーク導入の経緯

「良いモノが売れる世界に。」という揺るぎない企業理念、「自由に働き、自由に生きる！」というビジョンのもと、この常識を打破し、オンライン環境下でも営業活動が滞りなく、かつ高効率で実施できる可能性を追求しました。全国の優秀な人材が、場所の制約なく営業のプロとして活躍し、営業に課題を持つ企業を支援するという、当社の存在意義を最大化できると考え、テレワークの導入・活用を推進しました。

#### ◆テレワークの実施状況

対象職種：全部門全社員  
対象者の割合／実施率：100%  
実施頻度：週5

#### ◆利用したテレワークツール

ビデオ会議システム（Zoom）チャットツール（Slack）共有用クラウド、Zoomフォン、

#### ◆エグゼクティブのテレワークの特徴

「オフィスVSテレワーク」から「オフィス機能の理解と疑似体験」へ

# テレワーク活用による効果 導入・活用時の課題と対応策

## テレワークの活用による経営効果の発揮

テレワークを抜本的に活用することで、過去最高売上・利益を達成し持続的な成長を実現しています。

テレワーク導入前と比較し、**利益率が4.5%向上**しました。

### 1 人材確保・組織力強化

採用活動から研修までの全プロセスをオンラインで完結

全従業員の45%が**首都圏外から活動**しており、

全国の優秀な人材が活躍できる場を提供し、個人の成長と企業全体の成果に貢献しています。

- 北海道
- 岩手県
- 茨城県
- 群馬県
- 埼玉県
- 東京都
- 神奈川県
- 山梨県
- 長野県
- 愛知県
- 大阪府
- 香川県
- 愛媛県
- 福岡県
- 鹿児島県



#### 首都圏以外の応募数の推移:

2019 年	首都圏以外	0%
2020 年	首都圏以外	32%
2021 年	首都圏以外	48%
2022 年	首都圏以外	70%
2023 年	首都圏以外	70%
2024 年	首都圏以外	67%

### 2 生産性向上と従業員エンゲージメントの向上

テレワーク継続と経営安定化のため、研修・教育、マネジメント、チームワークを抜本的に強化。

#### A 研修・教育制度 「MIRAI-GATE」の導入

研修から実践訓練、実務に至るまで全てをオンラインで実施。実践訓練では、プロフェッショナルな営業スキルを持つメンバーが教育を担当することで、**短期間でのスキル習得体制を確立**。

#### B マネジメントシステム 「DUAL(デュアル)」

「自由に働き、自由に生きる。」を実現するマネジメントシステム。勤務地に関係なくマネジメント職を目指せる環境を整備し、従業員のモチベーションと生産性を向上。

- ①キャリアパスの自由
- ②勤務場所の自由
- ③勤務時間の自由

#### C チームワーク強化プロジェクト 「SNAP」の実施

テレワーク環境下でもオフィスのような「一体感」を生み出すことを目的に、「SNAP」プロジェクトを発足。先輩と後輩、各部門のメンバーが混ざり合い、**共通の目標に向かって熱意を共有する場を提供**。

# テレワーク導入・活用の成功要因とアドバイス 5年間のテレワークでわかった事

## 「オフィスVSテレワーク」から「オフィス機能の理解と疑似体験」へ

5年間の経験で、オフィスが良いか、テレワークが良いか？ではなく、オフィスの素晴らしい機能を再認識したうえで、テレワークでもいかにオフィスと同様の「**一体感**」を生む施策が作れるかが、テレワーク運用のコツだと気付きました。この「**一体感**」の正体は、下記の4点に細分化されますが、これをテレワークで擬似体験できればうまくいくように思います。

### ① チームワークの強化

他の社員が働いている姿を見ることで、互いに刺激を受け、モチベーションが高まります。オフィスの雰囲気が一体感を生み、やる気を引き出します。物理的な距離が近いことで、協同するプロジェクトの一体感や共有感が生まれます。



### ② 人材育成の促進

新入社員や若手社員にとって、直接先輩や上司の働き方を見習う機会が増え、成長が早まります。オフィスでの観察や直接指導が学習のスピードを上げることがあります。問題や不安があればすぐに相談できる環境が整っているため、サポート体制が強化されます。

### ③ コミュニケーションの効率化

オフィスにいることで意思疎通が容易になります。メールやチャットでは難しい微妙なニュアンスも伝えられます。会話や雑談から新しいアイデアや発見も生まれます。オフィス内では、リアルタイムでフィードバックを提供しやすく、問題が発生した場合もその場で解決しやすいです。意思決定や業務の進行が迅速に行われます。

この素晴らしい「オフィス機能」を再認識したうえで、オンラインでも同じ効果を生むために何をすべきか？

### ④ 組織文化の醸成

日常的なオフィス環境の中で、リーダーや同僚の行動や言葉から学ぶことができます。社内イベントや休憩時間の会話が、社員同士の信頼関係を強化します。組織全体のモラルや方向性をリードしやすくなります。日々の小さなやり取りの中で、組織としての一貫性や方向性を示すことができます。